

●この容器は、水を加えてかきまぜられるよう、多少大きめにつくってあります。
●表示している色ツヤやおびきツヤは、乾いてからの塗料の色で、多少異なる場合があります。
●塗料に塗りたいものは、事前に1日以上乾かす必要があります。

アサヒペン

ソフトなツヤ

無臭
水性

高性能
シリコンアクリル樹脂塗料

- 1 モルタル
- 2 ブロック・ベ
- 3 浴室・台所
- 4 屋内外かべ
- 5 木部・木製品

強力カビどめ剤配合

ビッグ10
デジ

超耐久

強力フッ素パワー
紫外線劣化防止剤(HALS)配合



- 6 ガーデニング
- 7 門扉・鉄柵
- 8 コンクリート
- 9 プラスチック
- 10 その他

強力サビどめ剤配合

- 汚れに強い
- 塩害・紫外線に強い
- 酸性雨・排気ガスに強い

多用途
1回塗り
0.7L

標準塗り面積
(1回塗り)
5.0~6.6㎡
タタミ3~4枚分

乾燥時間

夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ね時間の目安

夏期/2時間以上
冬期/6時間以上



商品名	水性ビッグ10多用途	品名	合成樹脂塗料(水系)
成分	合成樹脂(シリコンアクリル・フッ素)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、サビドメ剤、防カビ剤、水		

- 特長**
- 特殊フッ素樹脂、反応硬化型シリコン変性アクリル樹脂、紫外線劣化防止剤(HALS)の相乗効果により、汚れにくく、耐久性が格段に優れた高性能塗料です。
 - 白系塗料には自動車用にも使用されている高性能二酸化チタンを使用しています。
 - いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りで仕上がります。
 - サビドメ剤、防カビ剤を配合していますので、サビやカビの発生を防ぎます。
 - 厚塗りしてもタレにくく、たいへん塗りやすい塗料です。

- 用途**
- ドア・雨戸・羽目板・板べい・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品。
 - 浴室・台所・居間などのしっくい・モルタル・コンクリート壁・板壁。
 - コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい。
 - フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品。
 - 発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック面。

カベ紙、布カベ紙、ユニットバス、浴槽には適しません。絶えず水がかかったり、水につかる場所やいつも濡れているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面には適しません。

塗装方法

- はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
- 塗料がついて固まるところは、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。
- 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、右下の地下処理の注意にしたがって地下処理を行います。
- タに手をそえて、フタと容器の間にマイナドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●夏期、塗装面が高湿となり、乾燥が遅くなる場合はさらに少しうすめて調整します。
- ローラーで塗りにくところは先にすじかいバケで塗ります。
●広い面積の部分はローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使うと速く、楽に塗ることが出来ます。
- スキミングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- 塗装後1日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかったり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になります。

※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡が残らない状態)の時間です。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で濯いで下さい。

- 保管上の注意**
- 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
 - 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの温度が高くなるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
 - 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

- 表示の用途以外には使用しないで下さい。
- 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- 目に入ったとき、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。
- 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- 塗料がついてしまった場合は、速に洗い流して下さい。
- 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- 塗るときは、塗料が乾くまでの間、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- 濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うす塗りすぎたり、1回塗りで仕上がらないことがあります。
- 塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。
- コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。
- 特殊なサイディングやコーキング材・シーリング材の中にはハジキを生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。
- 高温になると塗膜が軟化する傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩ビシート・ビニールシート等が強い力で重なり合うと、くっつくことがあります。
- 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
- 容器は塗料を使い切った後、水を洗い流して下さい。
- 水をえす塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

地下処理の注意 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

- つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
- 旧塗膜を触って粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。
- 土壁・砂壁・せいの壁などに塗るときは、アサヒペンカベ塗料用下塗り剤またはアサヒペン水性シーラーを下塗りして下さい。
- タ・バコやセメント・コンクリートの上に塗装しますと塗膜にニジミが出てきますので、中性洗剤で充分に拭きとるか、アサヒペン水性セメント・アクロメシーラーを下塗りして下さい。
- くさび状の腐食や鉄部には直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。
- 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヵ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。
- カビがはえている所は、カビトリ剤でカビを取ってから塗って下さい。

危険		●遺伝性疾患のおそれ ●水生生物に毒性
----	--	------------------------

- 救急処置**
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。